

English Open Café「AZBAYAR Tsetsegdari Khairkhan(ツェツェグダリア)さん」

ダリアさんが緑色のデールというモンゴルの伝統的な衣装を着てイングリッシュカフェに入ってきたとき、皆の目が彼女に引き付けられました。彼女は故郷の広大な草原のように、穏やかでありながら堂々とした雰囲気醸し出していました。彼女は今週のゲストスピーカーであり、「青い空の国」として知られるモンゴルの物語を語りました。彼女の冒頭の言葉は、文化、歴史、そして美しい景色に満ちた国の鮮やかな描写を描き出しました。そこは、伝統的な習慣と現代的な現実が共存する場所でした。

音楽はモンゴル文化において重要です。ダリアさんは、馬が駆け抜ける音のような響きを持つメロディーを奏でる馬頭琴(モリンホール)について言及しました。この音楽は、モンゴル人がその環境との深い繋がりを反映する独特の歌唱の伝統であるホーミー(喉歌)を伴うことが多いです。これらの伝統は、モンゴルの「男の三つの競技」であるレスリング、競馬、弓術を強調するナーダム祭で祝われます。現在では女性も弓術に参加しますが、他の二つのスポーツは依然として男性が中心であり、その古代の起源を示しています。

ダリアさんは、岐路に立つ国の様子を描き続けました。人口の30%が遊牧民のままである一方で、教育と医療の約束に惹かれて多くの人々が都市に移住しています。首都ウランバートルは、この変化の縮図です。そこは、仏教の精神的な聖域であるガンダン寺や、第二次世界大戦のモンゴルとソ連の兵士を称えるザイサン戦勝記念碑など、歴史と現代が交わる場所です。

さらに、公教育は9年生まで無料で義務教育であり、これはすべてのモンゴル人の生活の質を向上させるための重要なステップです。

(モハメッド・シラジ)